

登録番号 事業所名	取組の感想
第19-0001号 橋本鉄鋼株式会社	昨今、地球環境、食糧不足、大気汚染等、ネットニュースやメディアなどで多く扱われるため、社員1人1人も考えている傾向が見受けられます。今までよりももっと多くの問題を表に出して地球の未来を考えていけるようにしたいと思っています。
第19-0005号 ㈱横浜製作所	R3年度も廃棄物の排出量、電気の使用量ともに前年度より減少しました。R3年度から取り組んだ、「運送手配便の集約」については、集約したことにより例年より約5%減という結果となりました。引き続き、CO ₂ 削減を目指して活動してまいります。
第19-0007号 ㈱加藤工務店	昨年度に引き続き、建築現場及び事務所より出るゴミの分別、低減化に努めました。建築現場及び事務所もデータをクラウド化し、さらなるペーパーレス化となるよう努めています。現在コロナ禍で資材の高騰、入手困難な状況でもあるので、今まで以上に無駄のない資材の発注をするよう、社内全体で努めてまいります。
第19-0008号 ㈱ラテン大和	全社員で環境負荷の低減に取り組みましたが、やむを得ず休業日を設けた（コロナ禍による）ことが数字面に反映した結果でした。削減量は月単位で前年同月、直近と結果を検証しています。まだまだ取り組める可能性がある項目を、常に意識しながら業務に携わってまいります。
第20-0002号 ㈱メイコー	昨年度は、遊休設備の廃棄や生産設備の入替え等、設備関係の不要物が大量に発生しましたが、自分たちで解体・分別することで廃棄物を減らし、有価物化やリサイクル化することが出来ました。今後も地道な活動を継続してまいります。
第20-0005号 ㈱青柳商店	環境に配慮することを意識して、出来ることを積極的に取り組むように努めました。
第20-0006号 ㈱山勝	当社は経費削減の意味合いも含め、使用エネルギーの削減を恒常的に取り組んでいる。当社の取組はコストの削減に立脚しているため、燃料費等の高騰で表面的には増加になっているが、使用量等については工場の稼働・トラックの稼働に鑑みれば減少している。
第20-0007号 ㈱栄和産業	去年に引き続きコストの低減、リサイクル化、節電を考える取り組みを行っています。電気使用量を確認するなど、環境負担の低減、環境の向上に努めていきたいと思えます。環境意識を高める為、全従業員で共有し今後も新しい取り組みを行っていきけるようにしたい。
第20-0008号 ㈱タズミ	令和3年度も継続して、焼却ごみの中から燃料化を推進し、事業者、周辺自治体より発生する産業廃棄物、一般廃棄物について再生燃料化（製造）を推進致しました。結果、12,442トン再生固形燃料として販売し利用していただくことができました。又、環境負荷低減（地球温暖化防止対策など）の取組みとして、トラック車両のエコドライブやエコ操作を継続的に実施し、効果を維持するとともに、CO ₂ を排出しない日産の電気自動車リーフを購入運用開始致しました。又、早川第2工場では、CO ₂ ゼロ×地産地消のクリーン電力サービスを掲げる「アスエネ」に切り替えを行いました。さらに廃棄物回収にかかる紙伝票の発行を無くし業務の省電力化を推し進めるべく、タブレット化を進めています。又、事務用品については、環境負荷の少ない製品（グリーン購入品など）の購入の拡大に継続して努めることが出来ました。

<p>第20-0014号 ㈱野中工業</p>	<p>まずは身近な問題から取り組んでいこうという意識を、社員全員で共有しながら取り組みました。内容的には微々たるものかもしれませんが、今後も常に環境への配慮を欠かさず、コツコツと続けていこうと思います。</p>
<p>第21-0001号 株式会社KYOEI</p>	<p>社内全体で、ペーパーレスに取り組む体制を整え始めた。社内で使用していた記入用紙をタブレットにすることで印刷物を減らし、また、印刷しないことによって破棄するコピー用紙の削減にも同時に取り組んでいます。 手差しをなるべく使用し、紙の購入を抑える取り組みはしていましたが、さらに使用数を削減できるよう努めていきたいと思っています。 業務上その他の取り組みをするには難しいかもしれませんが、個人的に日々の生活の中で取り組むよう促していきたいと考えています。</p>
<p>第22-0001号 ㈱紺野企業</p>	<p>今般、行った取組として、昨年に引き続き新型コロナウイルス蔓延に伴い事務所内及び休憩所に電解水（次亜塩素酸ナトリウム）加湿器の設置を行いました。更に事務所内にマスク着用での検温が可能な検温機の設置も行い感染拡大防止に取り組んでまいりました。また、引き続き工場周辺の清掃を行いました。 継続的施設として機械選別施設に重点対照とし、金属くず（スチール缶、アルミ缶）、PETボトル、ガラス瓶等の選別を行いました。 そしてカーボンオフセットの導入をしているので、受入れ廃棄物に対してオフセット（相殺）していくことを採用しております。 当事業所では、継続的に行われているエコアクション2.1（更新審査R03.3.10済）の環境活動の中で主に燃料使用量の削減や工場設備の電気使用量に削減、車両の増車に伴う低公害車、低燃料車の導入を行い、ガソリン使用量の削減に努めてまいりました。 また使用していない電気のスイッチをこまめに切るようにして節電に取り組んでいました。そして紙の使用量の排出抑制のため、使用済の用紙の裏面使用・両面印刷の徹底を継続的に行っています。</p>
<p>第22-0002号 横浜乳業㈱</p>	<p>コロナ禍の影響でペーパータオルのゴミをリサイクルに回せず、焼却処分に切替えて対応しておりましたが、20年度よりかは焼却に回す量は減らせました。また廃棄物の資源化率は毎年98%を超えておりましたが、外部的な要因によって食品廃棄物・産業廃棄物が発生、大きく増加した事で資源化率が91%まで低下してしまいました。燃料や用水といった部分では製造量が増加したのにも関わらず、各職場で省エネ・節水に取り組んでいただき、微量ではありますが削減されております。 また22年度よりR&Eプロジェクトが始まり、より一層省エネ活動に貢献して参ります。</p>
<p>第24-0004号 ㈱あやせ電気</p>	<p>環境意識を持って注意して取り組みました。 特に雨水の利用に関して積極的に行いました。</p>
<p>第24-0005号 ㈱中電社</p>	<p>『資源循環・有効利用』を重点課題として5年間継続しています。 半導体不足とコロナ禍の影響を受け、厳しい事業活動を強いられた年度でした。環境負荷の低減に向けた取組は昨年の数値には至りませんでした。今後も廃棄物の排出抑制と資源化率向上を推進して参ります。</p>
<p>第24-0006号 ㈱かなしんオフセット</p>	<p>各部署で環境負荷の低減を行い、前年度と比較して紙の購入枚数と電気の使用量を削減する事ができました。 引き続き、環境負荷の低減を行います。</p>
<p>第25-0001号 武田商事㈱</p>	<p>事業規模が拡大した年は、取組の数値が増加してしまう場合があるが、その際は削減効率をより高めていきたい。</p>

<p>第25-0002号 秋本食品株式会社</p>	<p>湘南工場は2003年にISO14001（環境）の認証を取得しました（2016年に認証返上） 環境低減活動は重要なテーマのため、継続して取り組んでおります。 今年の3月に湘南工場の屋根に太陽光パネルを1,232枚設置し、総電力の約3割を自然エネルギーに切り替えています。 また、第六期かながわSDGsパートナーに登録されましたので、今後も社会貢献活動を続けて参ります。</p>
<p>第25-0003号 ㈱高座豚手造りハム</p>	<p>資材価格等が上昇してきていることもあり、ムダを出さない、節約するという意識は、より強くなってきている。社員だけではなく、パート、アルバイトスタッフにも環境意識を強くもってもらいSDGsを実践できるようにしていきたい。</p>
<p>第26-0001号 エムケーチーズ株式会社</p>	<p>環境活動によって従業員ひとりひとりの環境意識が高まり、一定の取り組み成果が得られました。継続的かつ持続的に環境活動に取り組んでいきます。</p>
<p>第26-0004号 大平食品加工㈱</p>	<p>消費電力削減の為、工場内照明設備のLED化を推進しております。 これからの社会経済において原料調達は困難な状況が続き、また、消費エネルギーの削減についても、重要視することが求められていると考えています。 会社内で身近なことから、まだまだ出来ると思えます。 今後も引続き環境負荷の低減を目指し活動してまいります。</p>
<p>第26-0006号 明電ケミカル㈱相模事業所</p>	<p>取組の目標は未達となってしまった（前年度に引き続き）不良の発生、生産設備の老朽化等今後の課題が多くある。</p>
<p>第26-0007号 ㈱アサヒコ</p>	<p>個々の意識を高め積極的に取り組むことを継続する。 消費電力削減に向けLED器具導入・エリア毎の人感センサー・プルダウン等設置の継続中、適正管理に努めます。 リサイクル推進に力を入れ、肥料・肥料等に転化し目標の達成に向け環境にやさしい企業へと努めて行きます。</p>
<p>第26-0008号 東ソー㈱東京研究センター</p>	<p>従来より、廃棄物の排出抑制・リサイクル・適正処理や、省エネ機器の導入を進めるなど、環境負荷低減に努めております。令和3年度も、照明器具のLED化、省エネルギー型空調設備の導入など、CO₂排出量の削減に努めた結果、エネルギー原単価は約6.1%減少、CO₂排出量も約0.1%減となりました。今後も継続して環境に配慮した取り組みをより一層努めていきます。</p>
<p>第26-0009号 日本蛍光化学㈱</p>	<p>従来より取り組んできた内容でしたが、改めて環境への配慮を確認することができました。 今後は新たな目標を追加できるよう努めてまいります。</p>
<p>第26-0010号 東急リネンサプライ ㈱相模工場</p>	<p>社員全員が常に環境意識を持って取り組むことができました。 コロナ禍による緊急事態宣言や蔓延防止等による顧客ホテルの低稼働により工場操業が約80%でしたができることから取り組むように心がけて行動しました。 今後も環境負荷低減、環境の向上に努めていきます。</p>
<p>第30-0001号 ㈱ニチゲン</p>	<p>大型印刷機、富士フィルムビジネスイノベーション㈱RevoriaPressPC1120を購入したことによりCO₂の排出などの数値が随分と減少しました。</p>
<p>第33-0001号 ㈱藤井工務店</p>	<p>当社では令和3年9月度に登録を行い、取り組みを行っている。今年度は令和4年5月までの約8か月の期間であったため、達成基準は低いが着実に結果を出している。また今年度は「かながわSDGsパートナー」へ登録予定であり、より一層環境対策を強化する。当社は企業から市民へ環境対策を周知し、市民全体が環境対策への意識を高める地域社会をつくっていきたくと考えている。</p>

登録番号 事業所名	種別内容	目標内容	取組内容	取組結果
第19-0001 橋本鉄鋼株式会社	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	紙、プラスチック、トナーカートリッジ、電池等について、分別回収ボックスを適正に配置する等、ごみの分別とリサイクルを進める。	できている。
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	生産工程におけるリサイクルに取り組む。	生産過程で発生するごみのリサイクルを推進する。	できている。
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物、トイレットペーパー等に再生紙を使用する。	できている。
	輸送に伴う環境負荷の低減	自転車の使用に当たって環境へ配慮する。	アイドリングストップ等、エコドライブを実施する。	できている。
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	できている。
第19-0005号 ㈱横浜製作所	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	紙、金属缶、ガラスびん等、分別回収ボックスを適正に配置することにより、ごみの分別を徹底する。	大変良くできた
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する	食べ残しや食品の残りは可能な限りコンポスト化して利用する。	大変良くできた
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙等の紙類について再生紙や環境に配慮した製品への転換を進める。	大変良くできた
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気の使用量を把握し、削減する。	大変良くできた
第19-0007号 ㈱加藤工務店	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	紙、プラスチック、トナーカートリッジ、電池等について、分別回収ボックスを適正に配置する等、ごみの分別とリサイクルを進める。	事業廃棄物の資源化率：80%
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物、トイレットペーパー等に再生紙を使用する。	再生紙の使用率：90%
	建築物の建築・解体、開発事業に当たっての環境配慮	環境負荷の少ない建築材の使用等を推進する。	木材、コンクリート塊、汚泥、残土等の建設副産物の削減、再利用、分別、リサイクルに取り組む。	取り組んでいます。※率まではわかりません。
第19-0008号 ㈱ラテン大和	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の購入枚数を削減する。	昨年度比:30,000枚の削減
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物、トイレットペーパー等に再生紙を使用する。	再生紙の使用率:100%
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	その他環境に配慮した物品等の購入、使用を推進する。	エコマーク商品等、環境負荷の少ない製品を優先的に購入する。	物品購入におけるエコマーク等商品の購入率:75%
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の購入・選択に当たって環境に配慮する。	クリーンエネルギーカーや燃費基準達成車への代替を進める。	低公害車の導入:②50%
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の使用に当たって環境へ配慮する。	アイドリング・ストップ等、エコドライブを実践する。	エコドライブの実施率:100%
	省資源等	節水等を行い環境に配慮する。	水の使用量を把握し、削減する。	水使用量における削減量昨年度比:3000ℓ
	建築物の建築・解体、開発事業に当たっての環境配慮	環境整備と周辺の自然環境の保全に配慮する。	敷地内、壁面、屋上等の緑化を実施する。	緑地 ①面積:2㎡
	大気汚染、水質汚濁等の防止、化学物質対策等	悪臭、騒音、振動等の防止対策を講じる。	悪臭、騒音、振動等に対策を行う。	工場内外の側溝排水溝等を週1回の清掃実施。製造量が多い週、夏期は回数を増やしている。 浄化槽の定期点検・清掃(業者による)
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	電気使用における削減量 昨年度比:100Kw
	地球温暖化防止対策等	エレベーターを適正運転する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	LPガス使用における削減量 昨年度比:150ℓ
	地球温暖化防止対策等	冷暖房設備等を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	灯油使用における削減量 昨年度比:300ℓ
	地球温暖化防止対策等	給油設備を適正利用する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	ガソリン使用における削減量 昨年度比:700ℓ
第20-0002号 ㈱メイコー	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	紙、プラスチック、トナーカートリッジ、電池等について、分別回収ボックスを適正に配置する等、ごみの分別とリサイクルを進める。	廃プラの排出量削減率 前年度比：-18.4%
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	生産工程におけるリサイクルに取り組む。	生産過程で発生するごみのリサイクルを推進する。	資源化率：100%
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	照明のLED化、センサー付き照明への交換等電気使用量を把握し、削減する。	前年度比：-13.6%(原単位)
	地球温暖化防止対策等	事務機器を適正管理する。	ポイラーを安定運用する。	都市ガス使用量(昨年度比)：-17.4%
第20-0005号 ㈱青柳商店	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の購入枚数を削減する。	昨年度比500枚の削減
	地球温暖化防止対策等	給油設備を適正利用する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	ガソリン使用における削減量 昨年度比 1150減
	地球温暖化防止対策等	ポイラーを適正利用する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	軽油使用における削減量 昨年度比 1070減
第20-0006号 ㈱山勝	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	両面印刷、両面コピーを徹底する。	従前から取り組んでいるため対策年度比での集計はしていないが片面印刷に比較すれば用紙の消費量は少ない。
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の使用に当たって環境へ配慮する。	アイドリング・ストップ等、エコドライブを実践する。	○燃料費用の高騰もあり、運転職には通達して、アイドリングストップを徹底させている。
	地球温暖化防止対策等	自動車の適正使用及び抑制、又は低公害化する。	軽油、ガソリン等の燃料費を削減する。	昨年度比で概算10%程度の増加になったが、これは燃料費の高騰に起因しており、トラック等の第数、稼働時間に鑑みれば燃料使用量は確実に減っている。
第20-0007号 ㈱栄和産業	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の購入枚数を削減する	○
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	紙、プラスチック、トナーカートリッジ、電池等について、分別回収ボックスを適正に配置する等、ごみの分別とリサイクルを進める。	◎
	地球温暖化防止対策等	冷暖房設備等を適正管理する。	冷暖房設備等を適正管理する。	◎
第20-0008号 ㈱タズミ	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の使用量を抑制する。	廃棄物管理票(紙マニフェスト)を電子マニフェスト化 発行枚数：電子化率49% 脱紙へ；発行伝票を電子化中。
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙は、原則、再生紙を継続中
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	その他環境に配慮した物品等の購入、使用を推進する。	そのほか環境に配慮した物品等の購入、使用を推進する。	グリーン購入率 53.4%
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の購入・選択に当たって環境に配慮する。	自動車の購入・選択にあたって環境に配慮する。	営業車を日産電気自動車：リーフに切り替え トヨタ燃料電池車：ミライを運用中

登録番号 事業所名	種別内容	目標内容	取組内容	取組結果
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の使用に当たって環境へ配慮する。	自動車の使用にあたって環境へ配慮する。	廃棄物収集運搬車： 平成27年度燃料費基準達成車 65.5% 燃料全車両 4.2km/l
	製品の開発・設計等における環境配慮	環境保全型製品等の販売、消費者に対する情報提供を行う。	環境保全型商品等の販売、消費者に対する情報提供をおこなう。	化石燃料代替商品（再生燃料の製造販売）12,442トン/年達成。CO ₂ 排出抑制量24,772トン HPに環境経営レポート公表
第20-0014号 (有)野中工業	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物、トイレトーパー等に再生紙を使用する。	再生紙の使用率 35%
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	その他環境に配慮した物品等の購入、使用を推進する。	エコマーク商品等、環境負荷の少ない製品を優先的に購入する。	物品購入におけるエコマーク等商品の購入率:30%
第21-0001号 (株)KYOEI	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の購入枚数を削減する。	昨年比15,000枚削減
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物、トイレトーパー等に再生紙を使用する。	トイレトーパー・コピー用紙・作成封筒再生紙を使用。
	地球温暖化防止対策等	省エネ設備等を採用または改修する。	太陽光発電設備を活用する。	太陽光発電設備を活用。 売電しているため、直接に削減にはならないかもしれないが、引き続き活用
第22-0001号 (株)紺野企業	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	両面印刷、両面コピーを徹底する。	◎大変良くできた
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	廃棄物の発生を抑える取組を実施する。	使用済み用紙の裏面や使用済みの封筒を再利用する。	◎大変良くできた
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	再利用又はリサイクルしやすい製品を優先的に購入し使用する。	◎大変良くできた
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	生産工程におけるリサイクルに取り組む。	製造工程から発生する金属くず、紙くず、廃液などの回収・再利用のための設備を設置し、活用する。	◎大変良くできた
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の購入・選択に当たって環境に配慮する。	最新の排ガス規制や騒音規制に適合した車への代替を進める。	◎大変良くできた
	建築物の建築・解体、開発事業に当たっての環境配慮	環境整備と周辺の自然環境の保全に配慮する。	敷地内、壁面、屋上等の緑化を実施する。	◎大変良くできた
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	照明点灯箇所を減らす。	◎大変良くできた
	地球温暖化防止対策等	電気の使用量を把握し、削減する。	電気の使用量を把握し、削減する。	◎大変良くできた
	地球温暖化防止対策等	自動車の適正使用及び抑制、又は低公害化する。	走行ルートを合理化する。	◎大変良くできた
	地球温暖化防止対策等	自動車の適正使用及び抑制、又は低公害化する。	ガソリンの使用量を把握し、削減する。	◎大変良くできた
第22-0002号 横浜乳業(株)	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	廃棄物の発生を抑える取組を実施する。	埋立行産業廃棄物（焼却灰）の発生抑制。	埋立行産業廃棄物削減量110kg （20年度発生量385kg→21年度発生量275kg） 昨年度比71.4%
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	製造工程で発生するゴミのリサイクル化。	事業系廃棄物の資源化率91.2%
	省資源等	節水等を行い環境に配慮する。	水の使用量を把握し、削減する。	水使用削減量 16,769m ³ （20年度使用量1,160,106m ³ →21年度使用量1,143,337m ³ ） 昨年度比98.5%
	地球温暖化防止対策等	省エネ対応製品等を購入又は更新する。	コージェネレーション設備の更新。	ガスタービン→ガスエンジンに更新。 700kw×2基 発電電力の児童制御化。
	地球温暖化防止対策等	エレベーターを適正運転する。	燃料使用量の削減。	LPガス使用における削減量 169.4m ³ （20年度使用量3461.1m ³ →21年度使用量3291.7m ³ ）
第24-0004号 (株)あやせ電気	省資源等	雨水等を再利用し環境に配慮する。	雨水等を花壇や散水に利用しました。	雨水利用量 約5m ³
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の使用量を抑制する。	両面印刷、両面コピーを徹底しました。 1000枚
第24-0005号 (有)中電社	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	使用済み用紙の裏面再利用、FAX受信のペーパーレス化、管理書類の電子化で紙の購入枚数を削減している。	紙購入における削減率（昨年度比） A4サイズ:1,000枚 A3サイズ:1,000枚
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	生産工程におけるリサイクルに取り組む。	生産過程で発生する事業系廃棄物のリサイクルを推進する。	廃棄物の資源化率：90%
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の使用に当たって環境へ配慮する。	エコドライブ・アイドリングストップの実施	エコドライブの実施率：70% アイドリングストップの実施率：20%
	建築物の建築・解体、開発事業に当たっての環境配慮	環境整備と周辺の自然環境の保全に配慮する。	建物壁面、緑のカーテン実施。	面積：約9m ²
第24-0006号 (株)かなしんオフセット	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の購入枚数を削減する。	紙購入における削減枚数（昨年度比）： 7,500枚
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し削減する。	電気使用における削減量（昨年度比）： 123,317kWh
第25-0001号 武田商事(株)	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の購入枚数を削減する。	紙購入における削減枚数（昨年度比）： 200枚削減
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	廃棄物の発生を抑える取組を実施する。	再使用又はリサイクルしやすい製品や素材を使用し、廃棄物を削減する。	事業系廃棄物の削減量（昨年度比）： 240kg増加
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	紙、プラスチック、トナーカートリッジ、電池等について、分別回収ボックスを適正に配置する等、ごみの分別とリサイクルを進める。	事業系廃棄物の資源化率：40%
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物、トイレトーパー等に再生紙を使用する。	再生紙の使用率：100%
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	その他環境に配慮した物品等の購入、使用を推進する。	エコマーク商品等、環境負荷の少ない製品を優先的に購入する。	物品購入におけるエコマーク等商品の購入率：100%
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の使用に当たって環境へ配慮する。	クリーンエネルギーカーや燃費基準達成車への代替を進める。	低公害車の導入：①台数6台②割合60%
	輸送に伴う環境負荷の低減	車の排出ガスに含まれる有害物質等の量を削減する。	窒素酸化物等を除去する装置を設置する。	除去装置搭載車の導入：①台数6台②割合60%
	省資源等	節水等を行い環境に配慮する。	水の使用量を把握し、削減する。	水使用における削減量（昨年度比）： 77,000L増加
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	電気使用における削減量（昨年度比）： 2,861kWh増加
	地球温暖化防止対策等	給油設備を適正利用する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	ガソリン使用における削減量（昨年度比）： 1,268L増加
	地球温暖化防止対策等	ボイラーを適正利用する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	軽油使用における削減量（昨年度比）： 2,597L削減
	地球温暖化防止対策等	省エネ対応製品等を採用または改修する。	環境マネジメントシステムを導入する。	エコアクション21
地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気の使用量を削減する。		2020年度 2,538,063kw 2021年度 2,490,170kw ・需要予測精度を向上し、生産効率を改善
	事務機器を適正管理する。	ガスの使用量を削減する。		2020年度 44,953m ³ 2021年度 48,363m ³

登録番号 事業所名	種別内容	目標内容	取組内容	取組結果
第25-0002号 秋本食品株式会社	省資源等	節水等を行い環境に配慮する。	県水の使用量及び工場排水を削減する。	2020年度 95,706㎡ 2021年度 94,637㎡ ・節水活動及び生産現場の清掃
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	廃棄物の発生を抑える取組を実施する。	生ごみ（動植物性残渣）の排出量を削減する。	2020年度 323トン 2021年度 601トン ・生ゴミ減容機で水分を抜いて排出
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	廃棄物の発生を抑える取組を実施する。	プラスチックゴミを削減する。	2020年度 119トン 2021年度 110トン ・全部署マイバックを用意し、備品購入時のレジ袋を削減
	地球温暖化防止対策等	省エネ設備等を採用又は改修する。	湘南工場の屋根に太陽光パネルを設置し、総電力の約3割を自然エネルギーに変更。	・2020年3月20日～稼働開始 3月20日～3月31日の発電量18,570kw (二酸化炭素排出量：215トン/年間 削減予定)
	大気汚染、水質汚濁等の防止、化学物質対策等	水質汚濁物質排出を削減する。	下水道法を遵守し工場排出を基準値以内にし、河川に排水する。	・法定の頻度で点検を実施 ・専門業者による水質検査（毎月1回）は、問題はありませんでした。
	製品の開発・設計等における環境配慮	製品（プライベートブランド商品を含む）設計に当たって環境に配慮する。	賞味期限の長いお漬物を開発し、商品を購入したお客様やお店の売り場での廃棄ロスを削減する。	・浅漬野菜ミックスの賞味期限を1日延長
	製品の開発・設計等における環境配慮	製品（プライベートブランド商品を含む）設計に当たって環境に配慮する。	胡瓜ヌカトリーの包装容器をリサイクル工業で原料から再生された環境配慮型容器に変更。	・二酸化炭素の排出量を26トン削減（2020年度実績）
製品の開発・設計等における環境配慮	製品（プライベートブランド商品を含む）設計に当たって環境に配慮する。	お漬物の包装パッケージの製造時に使用するインキを環境にやさしいバイオマスインキに切り替え。	・6品に展開中（2021年12月時点）	
第25-0003号 ㈱高座豚手造りハム	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	その他環境に配慮した物品等の購入、使用を推進する。	コピーペーパーを全て植林木（アカシア）製にした。	ECFパルプ（塩素を使わずに漂白した木材パルプ）となっているためダイオキシンが出にくい。森林破壊に配慮された商品を使っている。環境負荷に配慮。
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	再生紙の使用推進。トイレットペーパー	トイレットペーパー購入は全て再生紙100%使用の商品となっている。
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	コピー機のトナーは全てリサイクル可能なものを使用。	
第26-0001号 エムケーチーズ㈱	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	廃棄物の発生を抑える取組を実施する。	汚泥乾燥機更新とMLSS管理による脱小汚泥産物の削減、廃棄物置場の分別掲示を明確化し、環境活動にて教育を実施。	産業廃棄物排出量（昨年度比）：136.9t削減
第26-0004号 大平食品加工㈱	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の購入枚数を削減する。	両面印刷にすることで、使用枚数を削減 1日150枚で30% 50枚×365 1年間で18,250枚削減
	雨水等を再使用し環境に配慮する。	雨水貯留槽や雨水利用施設を設置する。	井戸水を使い、水道水の使用量削減	会社内の水の使用量のうち、井戸水の使用割合は約70%を占めています。
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	プラスチック、トナーカートリッジ、電池、ビニール、金属、機械ごみなどの分別とリサイクルを進めている。	事業系廃棄物の削減 25%削減
	省エネ設備等を採用又は改修する。	太陽光発電設備を活用する。	太陽光発電設備を活用する。	最大出力 36kW
	照明設備を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	電気使用量削減によるCO ₂ 排出の削減。	会社内の照明設備のLED化を推進することで、電気の使用量削減
第26-0006号 明電ケミカル㈱相模事業所	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	廃棄物の発生を抑える取組を実施する。	排出排油量を削減する	目標値を上回り未達 不良品発生のための廃棄が主要因
	エレベーターを適正運転する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	LPガス使用量を削減する	目標値+10.1%で目標未達 (生産原単位としては目標達成)
第26-0007号 ㈱アサヒコ	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	紙、プラスチック、トナーカートリッジ、電池等について、分別回収ボックスを適正に配置する等、ごみの分別とリサイクルを進める。	紙、プラスチック、トナーカートリッジ、電池等について、分別回収ボックスを適正に配置する等、ごみの分別とリサイクルを進める。	資源化率90%
	生産工程におけるリサイクルに取り組む。	生産過程で発生するごみのリサイクルを推進する。	生産過程で発生するごみのリサイクルを推進する。	資源化率60%
	照明設備を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	照明器具を逐次省電力型へ交換する。	エリアを分け継続中
第26-0008号 東ソー㈱東京研究センター	地球温暖化防止対策等	省エネ設備等を採用又は改修する。	太陽光設備を活用する。	太陽光発電式LED街灯（2灯）新設
	地球温暖化防止対策等	省エネ対応製品等を購入又は更新する。	省エネ対応製品を購入、または更新する。	LED照明化（303台） 省エネ型空調設備への更新（11台）
	地球温暖化防止対策等	特定フロンを削減又は温室効果ガスを排出抑制する。	業務用機器の冷媒を適正に管理する。	回収したフロン 66件 96kg
第26-0009号 日本蛍光化学㈱	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物、トイレットペーパー等に再生紙を使用する。	○できた
	省資源等	節水等を行い環境に配慮する。	水の使用量を把握し、削減する。	○できた
	建築物の建築・解体、開発事業に当たっての環境配慮	建設物、構築物の環境への影響を予防するための方策を講じる。	老朽化に関する診断、長寿命化を行う。	◎大変良くできた
第26-0010号 東急リネンサプライ㈱相模工場	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物、トイレットペーパー等に再生紙を使用する。	◎大変良くできた
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	生産1kgあたり使用電気量（昨年度比）：-19%
	地球温暖化防止対策等	事務機器を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	生産1kg当たり使用都市ガス量（昨年度比）：-11.9%
第30-0001号 (株)ニチゲン	建築物の建築・解体、開発事業に当たっての環境配慮	新規事業を始める際に環境影響評価・環境配慮を行う。	富士フィルムビジネスイノベーションが所有する「グリーン電力証書」（日本自然エネルギー株式会社発行）を活用しています。 ご使用時の電力を「再生可能エネルギー（風力）により発電された『グリーン電力』」とみなせることからCO ₂ 排出抑制、地球温暖化抑制への貢献につながります。	CO ₂ の排出や地球温暖化抑制とまだ数値は出ていませんが従来の機械に比べれば良くなっています。
第33-0001号 ㈱藤井工務店	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の購入・選択に当たって環境へ配慮する。	クリーンエネルギーカーや燃費基準達成車への代替を進める。	令和3年9月度から5台のクリーンエネルギーカーなど環境負荷の少ない社用車への代替を行った。
	地球温暖化防止対策等	省エネ設備等を採用又は改修する。	太陽光発電設備を活用する。	令和3年度9月度から今日までお客様へ再生可能エネルギーなどの設備提案を行い、現時点で2件のお客様で太陽光発電設備の導入を折衝中である。